

協働評価シート

事業名		『産業遺産に光を』煙突山ライトアップ		実施年度	平成22年度
部 局		企画部	課 所	別子銅山文化遺産課	
団体等の名称		煙突山ライトアップin新居浜 愛媛			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性や立場を 理解し合え たか	お互いの特 性や立場を 十分に認 識、尊重し て、事業を 実施するこ とができた かどうかを 評価。	団体等	A	テーマが新居浜市のシンボリック存在で 大変やりやすかった。
			市	A	産業遺産の価値を十分に理解されており、 実施に支障がなかった。
			相互協議 結 果		
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	対等な立場 で協議、事 業実施がで きたかどう かを評価。	団体等	A	担当課の目線が市民目線だったので、 十分できた。
			市	A	以前からの協働事業を通じて、互いに 意見を出し合える関係である。
			相互協議 結 果		
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	自主的活動 を十分に活 かして事業 効果を増加 させたかど うかを評 価。	団体等	A	提言内容を理解していただき、十分に 活動できた。
			市	A	フットワークの良さで市が簡単にはで きないことを自主的にしていただいた。
			相互協議 結 果		
自立	市民の自 立化を阻 害しなか ったか	依存体質が助 長されるなど、 市民の自立化 が阻害される ことがなか ったかどうか を評価。(新たな 自発的事業展 開につながり 自立化が進ん だ場合はA評 価)	団体等	A	特にグリーンクリスマスライトアップ 2010では担当課名で参加でき信頼 関係が確立された。
			市	A	自ら、資源エネルギー庁のグリーンキ リスマスライトアップ2010を見つ けられ、相談をいただいた。
			相互協議 結 果		グリーンクリスマスライトアップ2010の 参加については市民団体が自ら発案し、行っ たものである。
目的共有	双方が協 働事業の共 同目的を 共有でき たか	協働事業の 目的は十分 に共有して 事業実施が できたかど うかを評 価。	団体等	A	市民が新居浜市のシンボルを誇りとす る心の育成ができた。
			市	A	産業遺産を活かしたまちづくりに向け て、目標が一致している事を確認でき た。
			相互協議 結 果		

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	双方の情報を出し合って共有できた。
			市	B	工事についての連絡が遅れたことは反省点があるが、概ね情報共有ができた。
			相互協議結果		
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	グリーンクリスマスライトアップ2010では全国にも公開できた。
			市	A	公開する機会は少なかったが、グリーンクリスマスライトアップ2010の実施は全国に公開する機会となった。
			相互協議結果		
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	グリーンクリスマスライトアップ2010では全国に公開でき、行政との窓口が生まれた。
			市	A	煙突についての最新の現状を伝えていただき、助かっている。
			相互協議結果		
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	見慣れた煙突が新居浜市の共通の宝であることが再確認できた。
			市	B	折悪しく、工事中となったことから、十分なバックアップができなかった。
			相互協議結果		

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	新居浜市のシンボリック存在、原風景である旧山根製錬所煙突が耐震補強、周辺整備期間中での協働事業で時期的に問題はあったが、全国に公開できたのは結果的には良かったと思う。後世に残す120年に1度の工事期間中を公開できたので、これからも郷土、新居浜のまちづくりを進めていきたい。
市	工事により、足場が設置されたことから、ライトアップの実施が困難であったと思われる。今後も協力体制を維持しつつ、違った形での展開を行いたい。
相互協議結果	団体の費用負担が大きいことは反省材料であるが、市の事業とすることは難しいことから、何らかの改善を図りたい。